

## 第5章

歴史と文化を未来へつなく、  
心豊かな人を育むまちづくり

(原案)

審議会の意見を反映した修正案

育の取組を推進します。

- 授業をもっと良くする3観点(ねらい、めりはり、見とどけ)を特に意識した授業改善に取り組むとともに、学力検査などの分析を児童生徒一人ひとりの学習指導に生かしながら、体験的な学習やグループ学習を積極的に取り入れていくことにより、児童生徒の自発的な学習を促進します。
- 自ら学ぶ意欲や心豊かな人間性を育むため、学校図書館を充実するとともに、ボランティアの協力による読書活動等を推進します。
- グローバルな見方、考え方を育むため、ALTの配置やICT機器を活用した外国語指導の充実を図ります。
- 学校におけるICT環境の整備により、情報機器を正しく利用するための情報モラル教育を進めるとともに、デジタル教科書やAIドリルの活用、プログラミング教育など、新学習指導要領に沿った基本的な情報活用能力の育成にむけた取組を推進します。
- 児童生徒が離れた場所で優れた授業を共有できるICT機器を活用した遠隔合同授業の実施を推進します。また、遠隔合同授業を「中1ギャップ」の解消や教師の授業改善に役立てる機会として活用を図ります。
- ICT機器の活用やデジタル教材、アプリケーションソフトなどに関する教員研修を充実させ、教員の資質や指導力の向上に努めます。
- 児童生徒の学習能力、運動能力、コミュニケーション能力、社会性、自己肯定感等の向上・改善に向けた取組を推進します。

## 2 きめ細かな学びの支援

- 保育士と教職員による保育・授業交換や同じ中学校区の児童の相互交流により、幼稚園・保育園・小学校・中学校の連携を図り、「小1プロブレム」や「中1ギャップ」の解消を図ります。
- 障害を持つ児童生徒を支援するため、特別支援教育支援員を配置します。また、外国籍の児童生徒の就学を支援するため、外国語児童生徒支援相談員を配置します。
- 低所得家庭の児童生徒の就学援助や、遠距離通学の児童生徒の通学支援を行います。また、放課後や長期休業における児童生徒の学習支援を行います。

## 3 安心安全な給食と食育の推進

- 地元の農産物等の地産地消、有機農産物の利用等を進めながら、学校給食の充実を図るとともに、伊那市学校給食食農体験事業「暮らしのなかの食」を推進し、児童生徒が食物生産に関わる循環型社会のあり方を体験できるよう努めます。
- 食物アレルギー対応食が必要な児童生徒に対しては、安全性を最優先した給食提供を行い、全ての児童生徒にとって学校給食が安全かつ楽しい時間となるよ

## 【後期基本計画における施策と展開方針】

### 1 不登校対策の推進

○不登校児童生徒を支援するため、不登校の実態とその原因を把握するとともに、学校・家庭・地域・NPO法人等との連携により相談・支援体制の一層の充実を図ります。

### 2 いじめ防止対策の推進

○学校における人権教育や情報モラル教育等を充実し、アンケートの実施等により、いじめの未然防止を図るとともに、子どもと親の相談員や、スクールカウンセラーの配置などにより、いじめの早期発見、早期解消を図ります。

### 3 虐待防止対策の推進

○学校・教職員向け「児童虐待防止対応マニュアル」に基づき、関係者の意識向上を図るとともに、子どもの安全と生活を守るため、支援体制の充実を図ります。

○様々な悩みを抱える児童生徒に対してきめ細やかな支援を行うため、関係機関の連携強化を図るとともに、関係者を対象にした児童虐待防止対策研修会等を行います。

## 【まちづくり指標（KPI）】

まちづくり指標	現状値		目標値		備考 (数値根拠)
	数値	年度	数値	年度	
いじめられたりいじめを見たりしたとき「おしえる人がいる」と答える児童の割合（小学校）	97.6%	2022 (R4)	100%	2028 (R10)	
悩みやいじめを「相談できる人がいる」と答える生徒の割合（中学校）	96.8%	2022 (R4)	100%	2028 (R10)	

係機関と連携して課題解決に努める必要があります。

## 【後期基本計画における施策と展開方針】

### 1 子どもの居場所と安心安全の確保

- 各公民館の特色を生かした子ども対象の公民館講座等により、子どもの居場所づくりに取り組むとともに、必要なスタッフの確保に対応すべく支援者登録の推進に努めます。
- 利用者ニーズや安心安全を踏まえた学童クラブの施設整備に努め、共働き世帯を支援するとともに、地域において子どもたちが伸び伸びと成長できるような環境づくりを進めます。
- 学童クラブでの安心安全な子どもの受入に対応するため、スタッフの確保や支援体制の強化に努めます。
- SNSなどインターネット環境を介した人間関係のトラブル、いじめや子どもの性被害など、子どもが遭遇するリスクに対応するため、学校や関係機関と連携してネットリテラシー教育の充実に取り組みます。
- 登下校の子どもの見守り活動を通じて、子どもたちを犯罪や孤立感から守ります。

○NPO法人等と連携し、子どもの居場所づくりの充実に努めます。

### 2 地域・関係機関との連携による家庭教育の充実

- 各育成団体と協力して青少年育成運動を展開し、地域全体で青少年の健全育成を推進します。
- 家庭教育の充実について、関係機関と連携を図りながら働きかけを行うと共に、学童クラブでも日常生活で必要となる基本的な生活習慣を身に着けるための支援や指導に取り組みます。

## 【まちづくり指標（KPI）】

まちづくり指標	現状値		目標値		備考 (数値根拠)
	数値	年度	数値	年度	
公民館子ども対象講座の参加者数	842人	2022 (R4)	900人	2028 (R10)	講座参加者数(参加登録者数)
学童クラブ定員数(受入れ整備目標)	865人	2022 (R4)	878人	2028 (R10)	

## 【まちづくり指標（KPI）】

まちづくり指標	現状値		目標値		備考 (数値根拠)
	数値	年度	数値	年度	
文化振興補助金の利用件数	17 件	2022 (R4)	25 件	2028 (R10)	
高遠町歴史博物館 入館者数	14,167 人	2022 (R4)	21,000 人	2028 (R10)	
伊那市創造館 入館者数	20,720 人	2022 (R4)	39,000 人	2028 (R10)	
信州高遠美術館 入館者数	7,280 人	2022 (R4)	15,000 人	2028 (R10)	
伊那市民俗資料館 入館者数	5,931 人	2022 (R4)	<u>7,200 人</u>	2028 (R10)	